

「川崎の工場夜景を体験しよう」

～夜の観光オプションを増やそう～

2017年11月28日(火)実施 JGA 第一支部研修終了レポート

11月28日(火)、川崎市産業振興会館を座学の会場に、また京浜工業地帯臨海部をバス実習の場として、JGA 第一支部主催の川崎工場夜景の研修が実施されました。出席者は、33名(JGA 正会員28名、非会員3名、運営委員2名)でした。

研修は第1部(16:00～17:00)に川崎市観光協会観光推進部長の安永太郎様を講師にお迎えし、「川崎の産業観光・工場夜景の取組」についてのご講義を頂きました。東京と横浜に挟まれ過去の「公害」という負のイメージが残り、川崎大師以外に観光地というイメージのない川崎で、2005年に策定した「かわさき観光振興プラン」で産業観光の推進をテーマとし、その柱になったのが川崎の工場夜景でした。



第2部(17:30～20:00)は、お待ちかね、バスに乗っての川崎工場夜景の見学実習です。川崎市では、工場夜景を案内するエキスパートとして「川崎工場夜景ナビゲーター」を認定しており、今回はナビゲーターとしての活動を始めて8年目というベテランナビゲーターの國 治子様にご案内をして頂きました。



川崎の工場夜景観光では、①観光バス、②クルーズ、③タクシーといった手段があり、それぞれの美しさやメリット・デメリットがあるのですが、今回はバス車窓からの景色と、バスから降りて市営埠頭での工場を間近に見た風景や川崎マリエン10階の高所からの展望や、東扇島公園での広々とした海辺の景色等、それぞれ特徴のある降車での観光を、國ナビゲーターの見事なガイディングと共に堪能いたしました。

あっという間に2時間が過ぎ、最後の降車場所である東扇島公園から川崎駅へ戻る途上、首都高速川崎線の浮島より高速に入り、右手に羽田空港を、左手に川崎の工場を見渡す風景は、まさに川崎工場夜景観光の圧巻でした。この風景を見たリドリー・スコット監督が第一弾の「ブレードランナー」の、SEKAI NO OWARIが「スターライトパレード」の着想を得たというのも「さもありなん」と納得できる、未来的、SF的な印象のある怪しく美しい光景を堪能した後、夢見心地のまま川崎駅前に到着し、4時間超の研修が終了しました。



今回の研修で川崎工場夜景の魅力を知った33名の通訳案内士である私達が発信元となり、海外からのお客様にも川崎工場夜景の魅力を更に広めるきっかけになる事を祈りつつ、研修報告を終了いたします。